

第2章 宮古市の現状

第2章 宮古市の現状

1 人口等の動向

(1) 人口推移

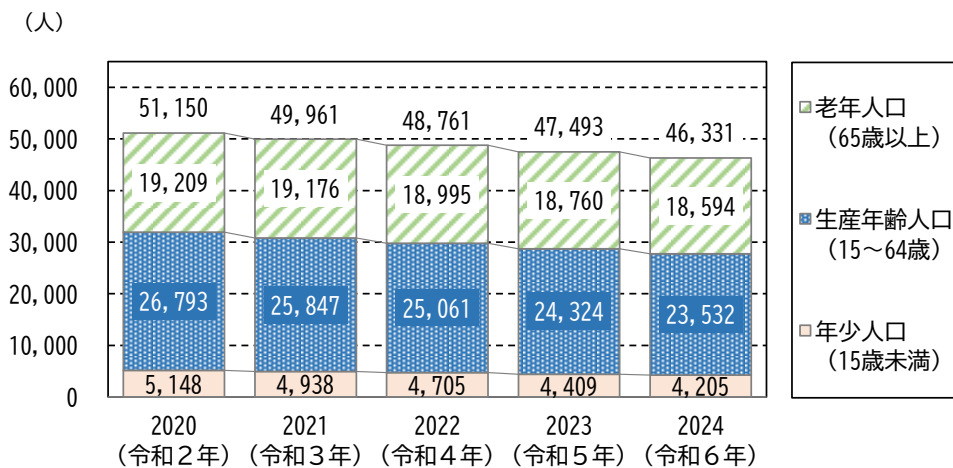
本市の人口は、減少傾向で推移し、2024（令和6）年3月31日現在の人口は46,331人となっています。

年齢3区分人口では、すべての区分で人口が減少傾向にあります。

また、年齢3区分人口構成では、15歳未満の年少人口割合、15～64歳の生産年齢人口割合は減少傾向、65歳以上の老年人口割合（高齢化率）は増加傾向で推移していることから、少子高齢化が進行していることが分かります。

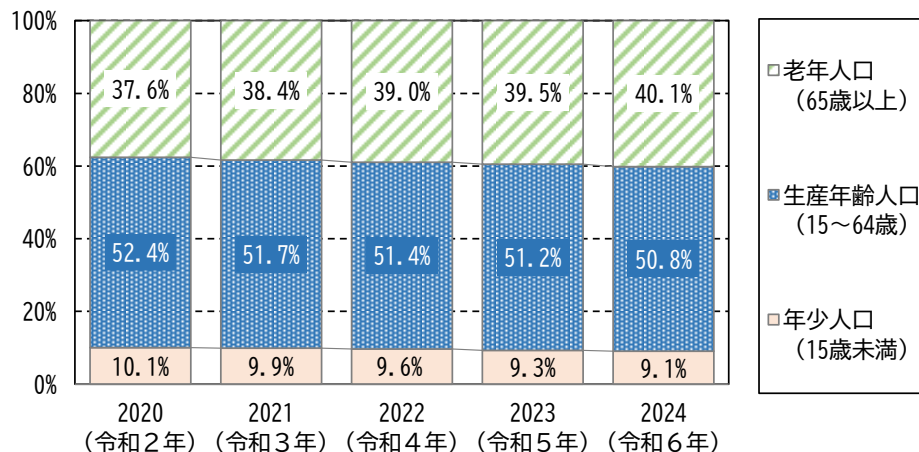
さらに、2024（令和6）年3月31日現在の人口ピラミッドをみると、「つぼ型」になっており、男性、女性ともに70歳から74歳の人口構成が最も多いことから、今後数年間で後期高齢者のさらなる増加が見込まれます。

■人口推移



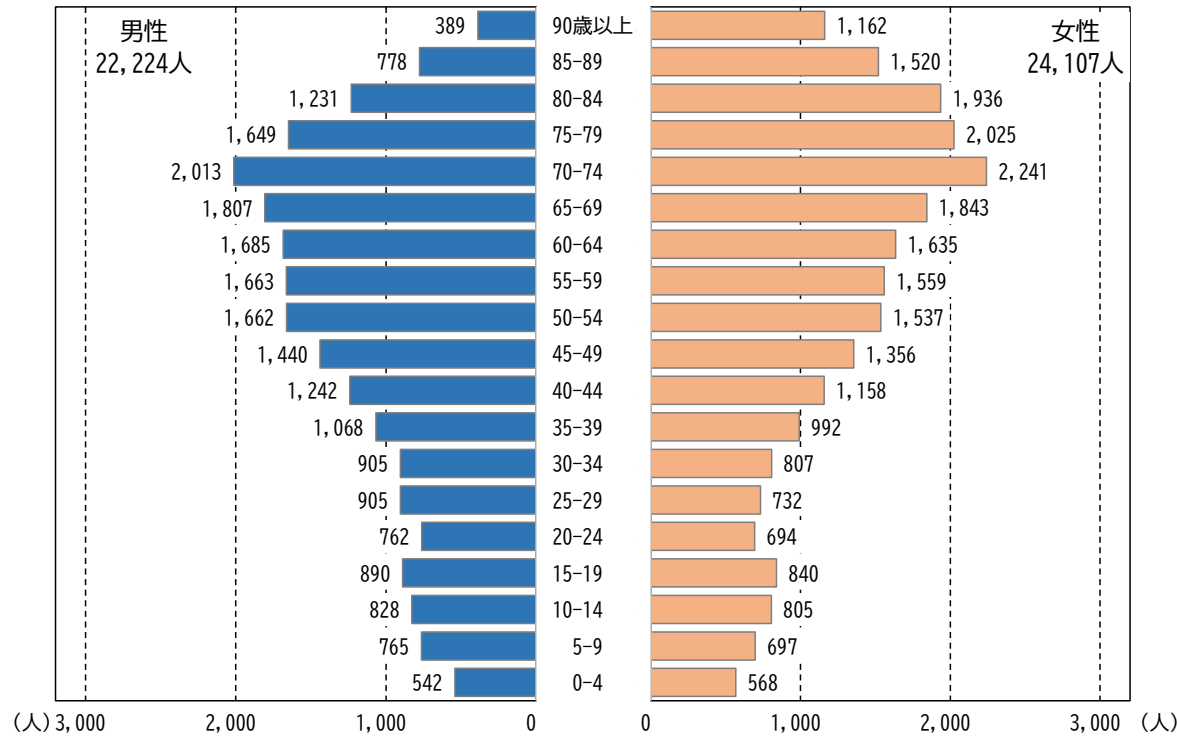
資料：住民基本台帳 各年3月31日現在

■人口構成の推移



資料：住民基本台帳 各年3月31日現在

■人口ピラミッド



資料：住民基本台帳 2024（令和6）年3月31日現在

（2）世帯の状況

国勢調査によると、一般世帯数は2015（平成27）年までは増加傾向を示していましたが、それ以降は減少傾向で推移し、2020（令和2）年では、21,152世帯となっています。

また、65歳以上親族のいる一般世帯は、2020（令和2）年で12,255世帯、高齢夫婦世帯が2,788世帯と減少傾向で推移しており、高齢単身世帯が3,543世帯と増加傾向となっています。

さらに、18歳未満の親族のいる世帯と6歳未満の親族のいる一般世帯は減少傾向で推移しており、2020（令和2）年では18歳未満親族のいる世帯が3,477世帯、6歳未満親族のいる世帯が1,356世帯となっています。

■世帯の状況

	2010 (平成22年)	2015 (平成27年)	2020 (令和2年)
一般世帯数・・・(ア)	22,440	22,544	21,152
(ア)のうち65歳以上親族のいる一般世帯・・・(イ)	12,062	12,450	12,255
(イ)のうち高齢夫婦世帯	2,783	2,857	2,788
(イ)のうち高齢単身世帯	2,621	3,193	3,543
(ア)のうち18歳未満親族のいる一般世帯・・・(ウ)	5,123	4,379	3,477
(ウ)のうち6歳未満親族のいる一般世帯	1,883	1,630	1,356

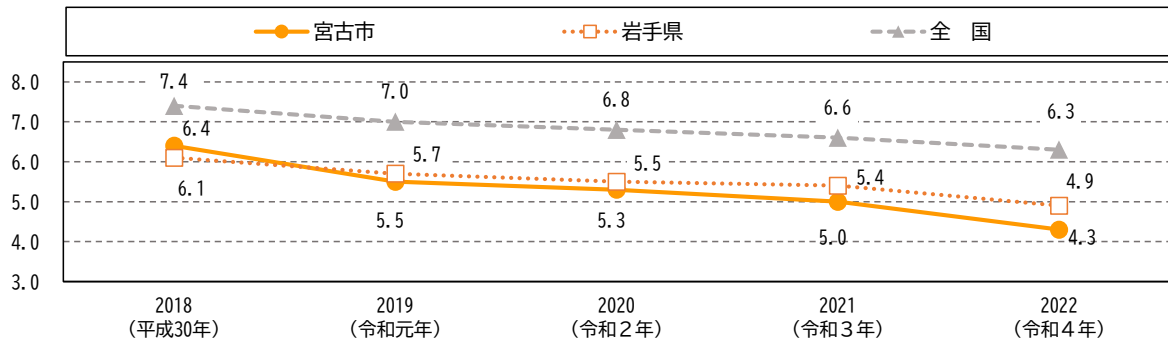
資料：国勢調査

(3) 出生率と死亡率

出生率は、2018（平成30）年以降、常に全国、県を下回っており、2022（令和4）年の出生率は、4.3となっています。

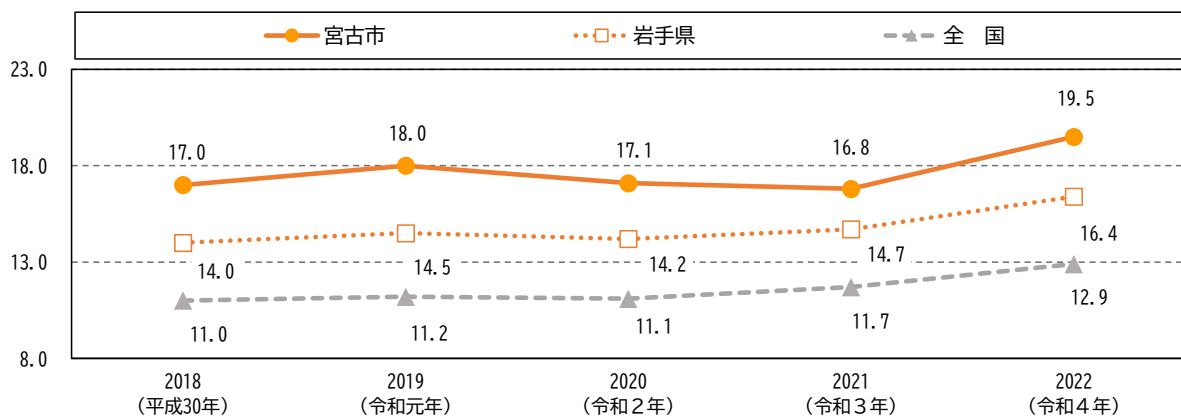
死亡率は、常に全国、県を上回っており、特に2021（令和3）年から2022（令和4）年にかけての死亡率は大きく上昇しています。2022（令和4）年の死亡率は19.5となっています。

■出生率



資料：厚労省 人口動態総覧実数及び率（都道府県別）人口千対
岩手県 保健福祉年報（人口動態編）

■死亡率



資料：厚労省 人口動態総覧実数及び率（都道府県別）人口千対
岩手県 保健福祉年報（人口動態編）

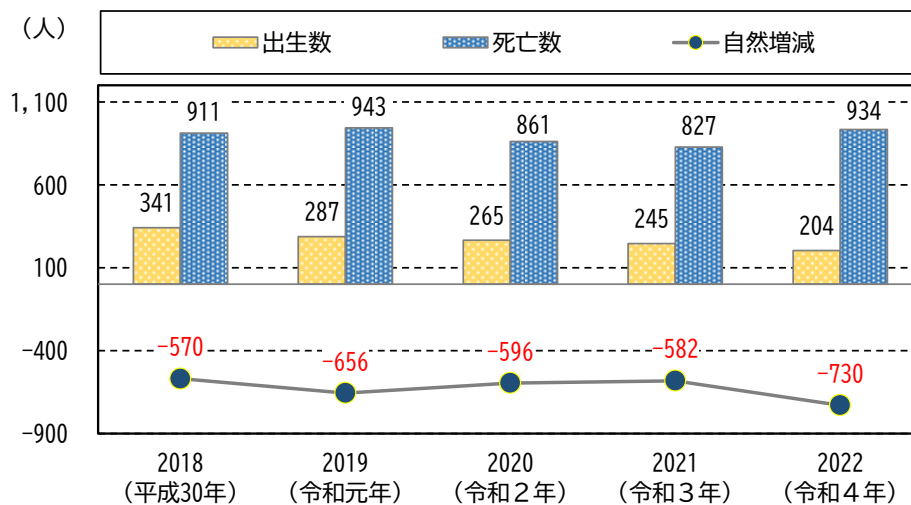
第2章 宮古市の現状

(4) 自然動態

出生数と死亡数については、常に死亡超過で自然減となっています。

2022（令和4）年の自然増減は、マイナス730人となっています。

■自然動態

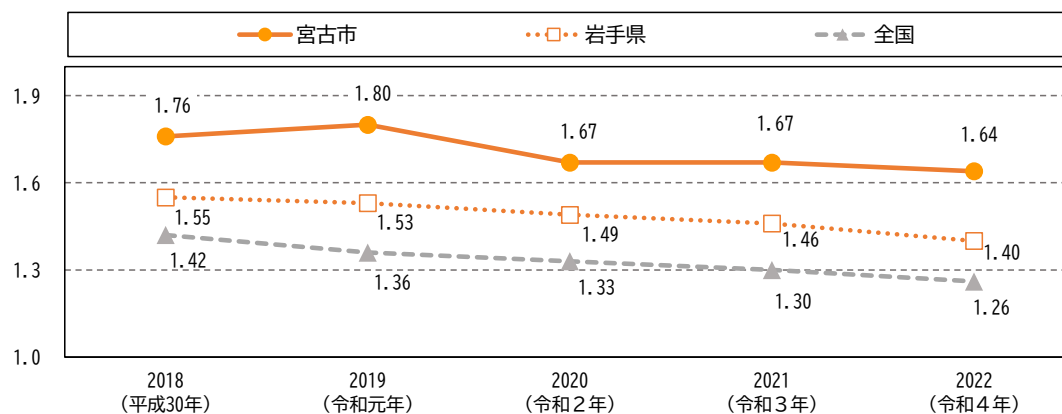


資料：岩手県 保健福祉年報（人口動態編）

(5) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は、全国、県より高い数値で推移しており、2022（令和4）年では1.64となっています。

■合計特殊出生率



資料：厚労省 人口動態総覧実数及び率（都道府県別）人口千対
岩手県 保健福祉年報（人口動態編）

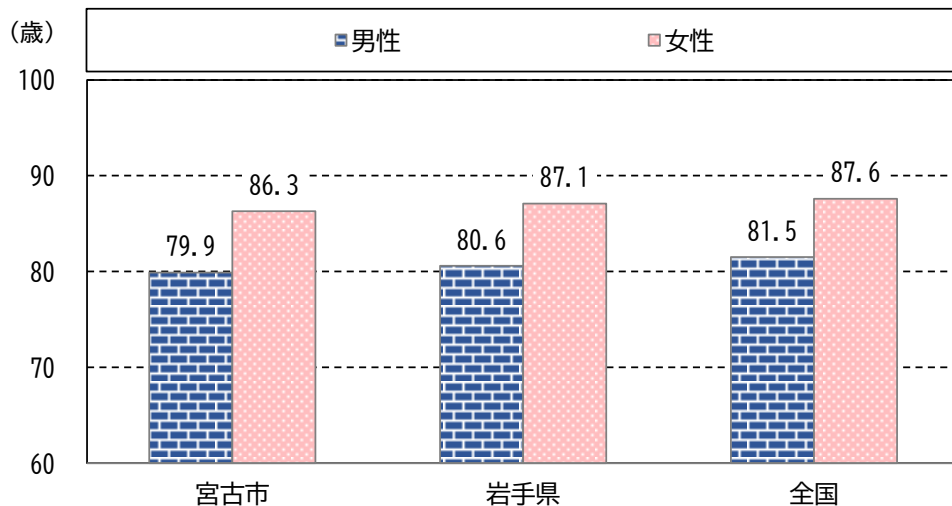
※合計特殊出生率：一人の女性が一生の間に生むとされるこどもの数を表す数値

2 平均寿命

2020（令和2）年の国勢調査を基に算定された平均寿命は、男性は79.9歳、女性は86.3歳となっており、ともに全国（男性81.5歳、女性87.6歳）と県（男性80.6歳、女性87.1歳）の平均より低くなっています。

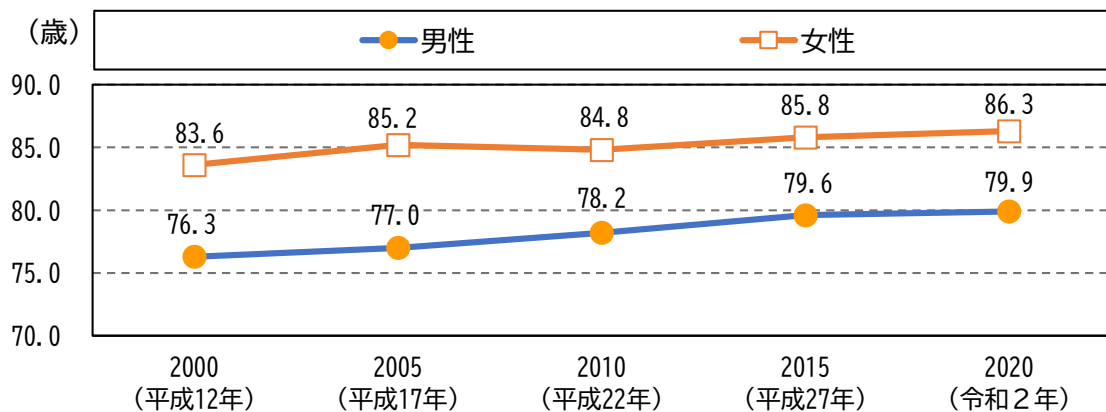
また、男女別の平均寿命では、常に女性の平均寿命が長く、6歳以上の差があります。

■平均寿命



資料：令和2年市区町村別生命表の概況

■宮古市 男女別平均寿命（経年）

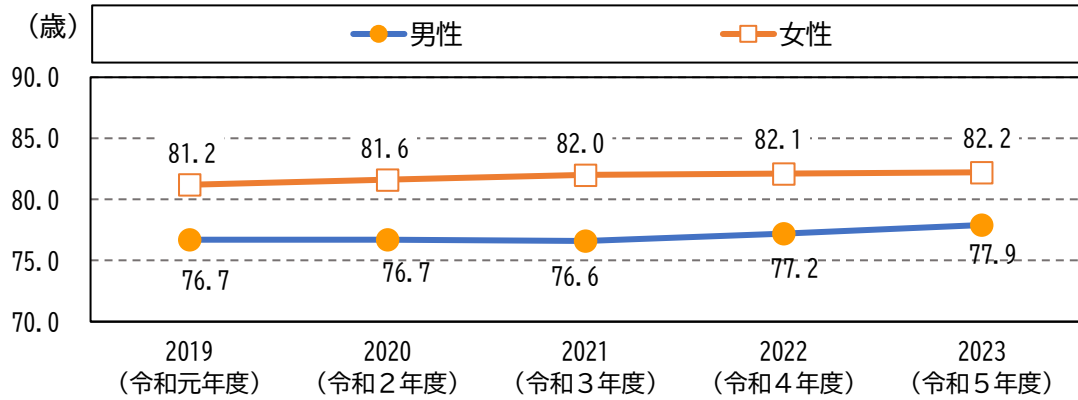


資料：（各年）市区町村別生命表の概況

3 健康寿命

介護保険データを基に算定された健康寿命は、男性77歳、女性82歳前後で推移しており、男性に比べ女性の健康寿命が長くなっています。

■宮古市 男女別健康寿命（経年）



資料：国保データベースシステム

※健康寿命：介護保険のデータを活用し、「日常生活動作が自立している期間の平均」を「平均自立期間」＝「健康寿命」としています

4 死亡の状況

(1) 死亡原因（上位5項目）

本市の死因別死亡数をみると、2022（令和4）年では「悪性新生物」が最も多く、次いで「心疾患」、「老衰」、「脳血管疾患」、「肺炎」と続いています。

常に、「悪性新生物」「心疾患」が上位2つになっています。

■宮古市の死因順位

	2018 (平成30年)	2019 (令和元年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)
1位	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
2位	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
3位	脳血管疾患	肺炎	老衰	脳血管疾患	老衰
4位	肺炎	脳血管疾患	脳血管疾患	老衰	脳血管疾患
5位	老衰	老衰	肺炎	肺炎	肺炎

■岩手県の死因順位

	2018 (平成30年)	2019 (令和元年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)
1位	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
2位	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
3位	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	老衰
4位	老衰	老衰	老衰	老衰	脳血管疾患
5位	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎

■全国の死因順位

	2018 (平成30年)	2019 (令和元年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)
1位	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
2位	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
3位	肺炎	脳血管疾患	老衰	老衰	老衰
4位	脳血管疾患	老衰	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患
5位	老衰	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎

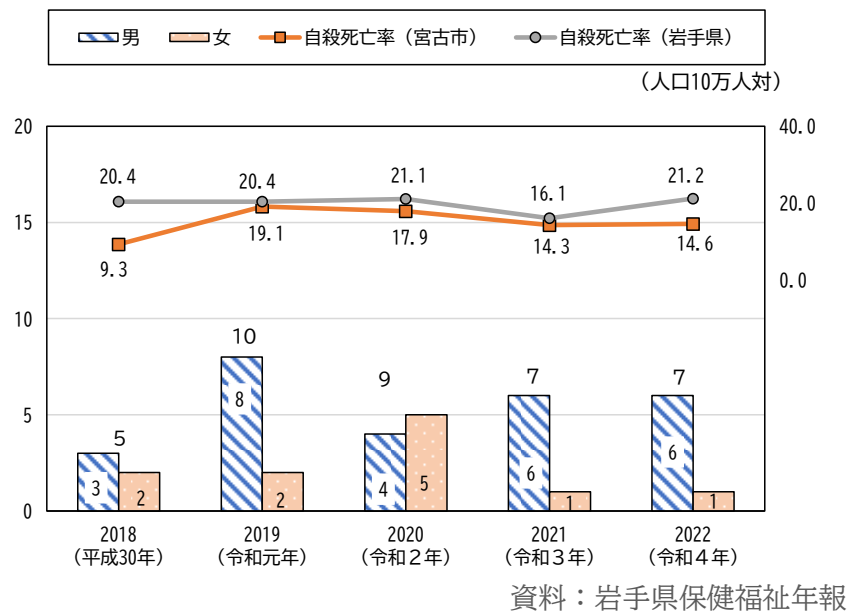
資料：岩手県保健福祉年報

第2章 宮古市の現状

(2) 自殺者数・自殺死亡率

自殺者数は、年5人から10人の間で推移しており、最も多かったのは2019（令和元年）年の10人で、最も少なかったのは、2018（平成30）年の5人となっています。

■自殺者数と自殺死亡率



(3) 自殺の特徴

自殺総合対策推進センターが作成した「地域自殺実態プロファイル2023」から、過去5年間（2018（平成30）年～2022（令和4）年）の本市の自殺の特徴をみると、自殺者数が多い区分は、「男性60歳以上、無職同居」がもっとも多く、次いで「男性20～39歳、有職同居」、「男性40～59歳、有職同居」となっています。

■自殺の特徴（2018（平成30）年～2022（令和4）年合計）

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率 (人口10万対)
1位:男性 60歳以上無職同居	8	21.1%	35.8
2位:男性 20～39歳有職同居	4	10.5%	27.7
3位:男性 40～59歳有職同居	4	10.5%	16.9
4位:男性 60歳以上無職独居	3	7.9%	59.1
5位:男性 40～59歳無職独居	2	5.3%	321.5

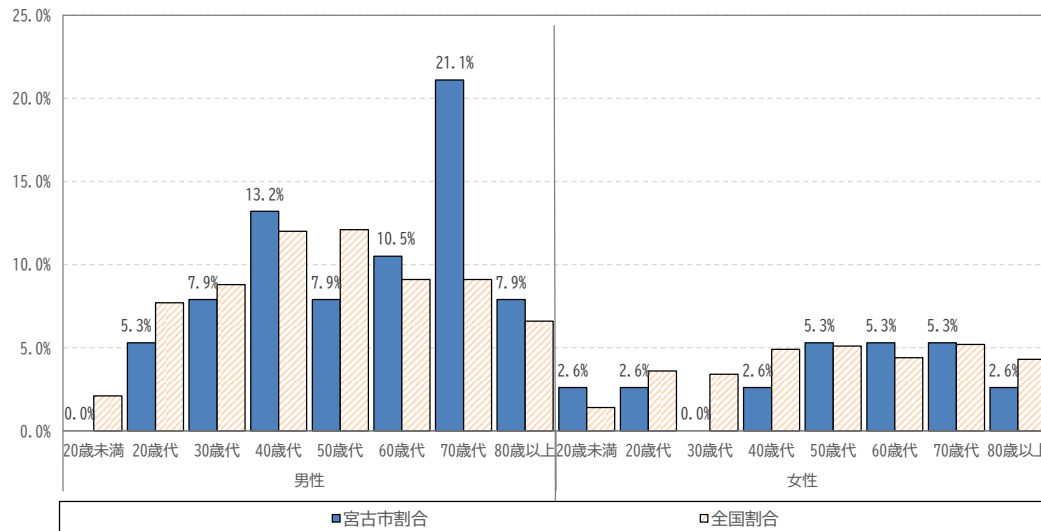
資料：地域自殺実態プロファイル 2023

- ・区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順となっています。
- ・自殺死亡率の算出に用いた人口は、総務省「令和2年国勢調査」就業状況等基本集計を基にJSCPにて推計したものです。

(4) 性別・年代別自殺者割合等

性別・年代別の自殺者割合は、男性では「70歳代」、女性では「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」の割合が高くなっています。

■性別・年代別の自殺者割合（2018（平成30）年～2022（令和4）年）



資料： 地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地）

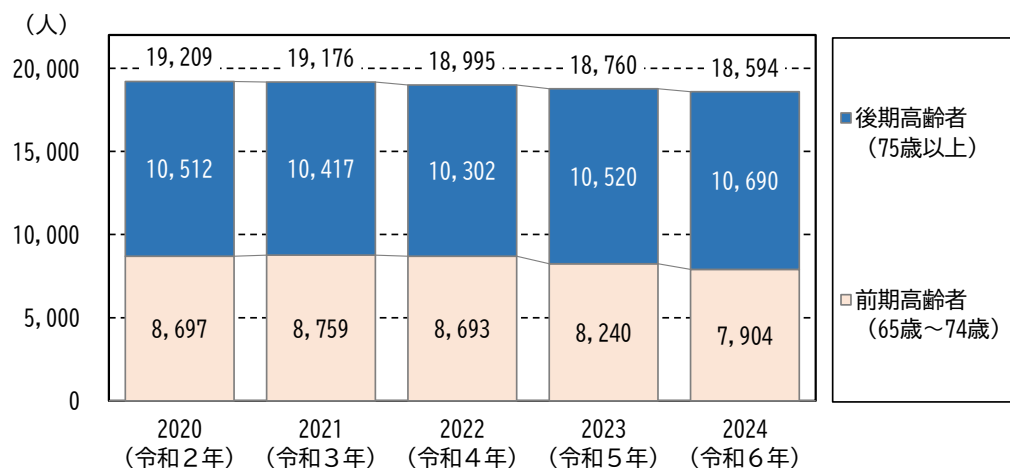
5 要支援・要介護認定者

(1) 高齢者人口

高齢者人口の推移をみると、2020(令和2)年は19,209人でしたが、2024(令和6)年には18,594人となり615人減少しています。

また、75歳未満の前期高齢者、75歳以上の後期高齢者の区分でその推移をみると、後期高齢者は2022（令和4）年以降、増加に転じ、2024（令和6）年で10,690人となっています。

■高齢者人口



資料：住民基本台帳 各年3月31日現在

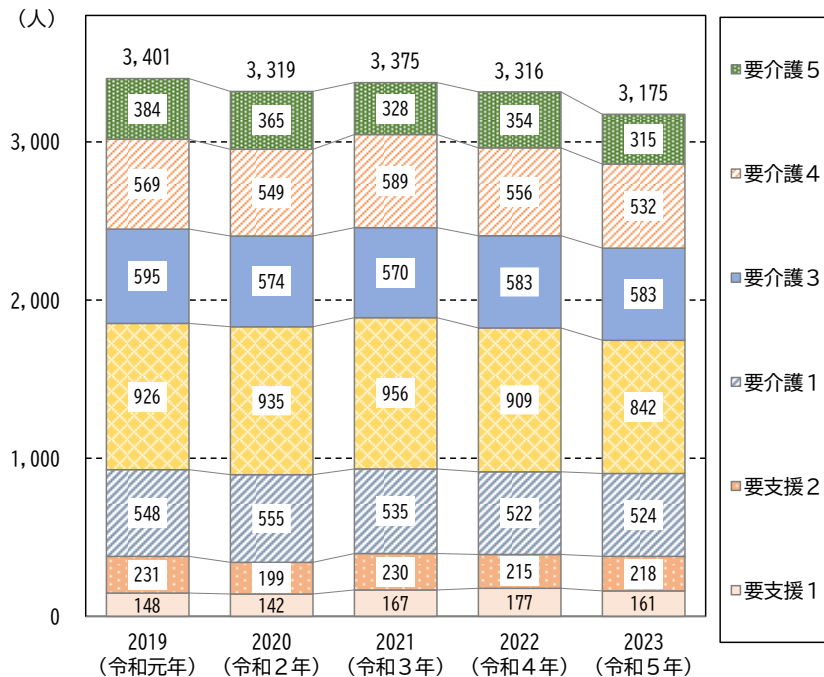
第2章 宮古市の現状

(2) 要支援・要介護等認定者

要支援・要介護等認定者数は減少で推移しており、2023(令和5)年の要介護等認定者数は3,175人となっています。

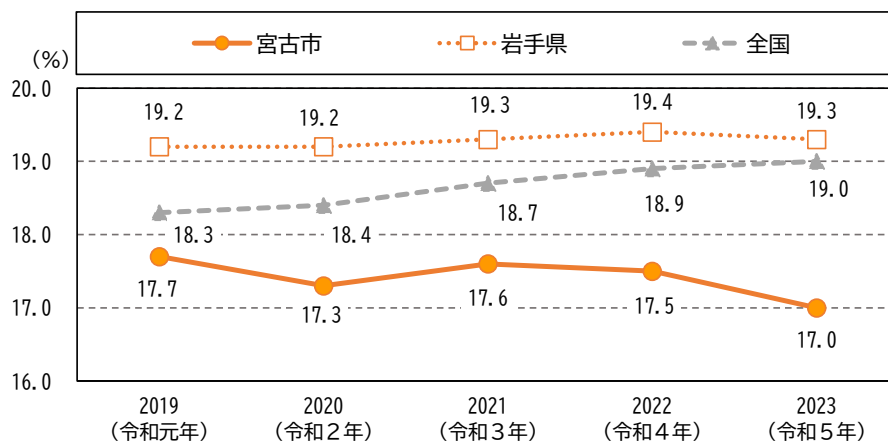
要支援・要介護の認定率は、常に、全国、県の数値を下回っており、2023(令和5)年では17.0%となっています。

■要支援・要介護認定者の推移



資料：介護保険事業報告

■要支援・要介護認定の認定率



資料：介護保険事業報告

6 医療費について

(1) 総医療費及び一人当たり医療費

国民健康保険の総医療費は、2022（令和4）年度までは減少傾向で推移していましたが、2023（令和5）年度に増加し、総医療費は約48億円、一人当たりの医療費は約44万円となっています。

後期高齢者医療の総医療費は、2020（令和2）年度以降増加傾向で推移しており、2023（令和5）年度では約86億円、1人あたりの医療費は約82万円となっています。

■総医療費及び一人当たり医療費の推移

単位：円

	国民健康保険		後期高齢者医療	
	総医療費	一人当たり医療費	総医療費	一人当たり医療費
2019(令和元年度)	5,281,836,203	417,702	8,221,676,349	784,961
2020(令和2年度)	5,172,650,027	423,710	8,082,369,321	776,554
2021(令和3年度)	5,021,013,010	417,305	8,319,657,659	808,519
2022(令和4年度)	4,749,788,527	414,575	8,376,270,808	812,048
2023(令和5年度)	4,762,918,058	439,789	8,624,191,830	820,024

資料：（国民健康保険）第2期データヘルス計画医療健康情報分析

2023(令和5)年度については総合窓口課国民健康保険係に照会
（後期高齢者医療）令和4年度岩手県後期高齢者医療の概要

2023(令和5)年度については総合窓口課医療給付係に照会

第2章 宮古市の現状

(2) 国民健康保険・後期高齢者医療の疾病別医療費内訳

2023(令和5)年度の疾病別医療費では、国民健康保険で最も大きな割合を占めるのは、「新生物」、次いで「循環器系の疾病」、「精神及び行動の障害」、「代謝疾患等」、「尿路性器系の疾患」と続いています。

後期高齢者医療で最も大きな割合を占めるのが、「循環器系の疾病」、次いで「新生物」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「精神及び行動の障害」、「神経系の疾患」と続いています。

■疾病別医療費内訳（上位5項目）

【国民健康保険】

国民健康保険		
	医療費（円）	割合（％）
新生物	642,732,040	15.5
循環器系の疾病	550,492,660	13.3
精神及び行動の障害	507,693,350	12.2
代謝疾患等	402,982,430	9.7
尿路性器系の疾患	347,965,510	8.4

【後期高齢者医療】

後期高齢者医療		
	医療費（円）	割合（％）
循環器系の疾病	1,642,565,930	21.6
新生物	917,529,640	12.1
筋骨格系及び結合組織の疾患	825,058,420	10.9
精神及び行動の障害	644,087,500	8.5
神経系の疾患	591,128,100	7.8

資料：（国民健康保険）KDB システム（総合窓口課国民健康保険係に照会）
（後期高齢者医療）KDB システム後期高齢者「令和5年度疾病別医療費分析
（大分類）」（総合窓口課医療給付係に照会）

7 健診（検診）などの受診状況について

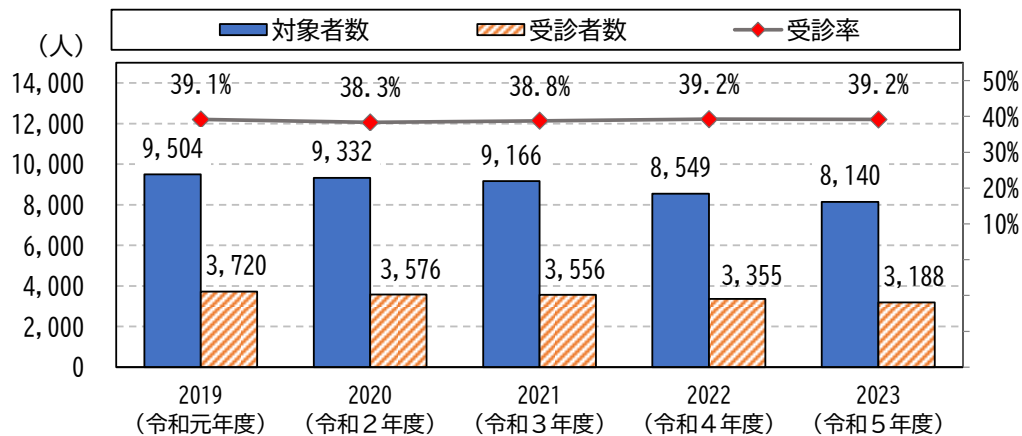
（1）宮古市国民健康保険の特定健康診査受診状況と特定保健指導の実施状況

特定健康診査の受診状況を見ると、約4割で推移しています。

2020(令和2)年度の受診率は低下しましたが、その後は横ばいで推移しています。

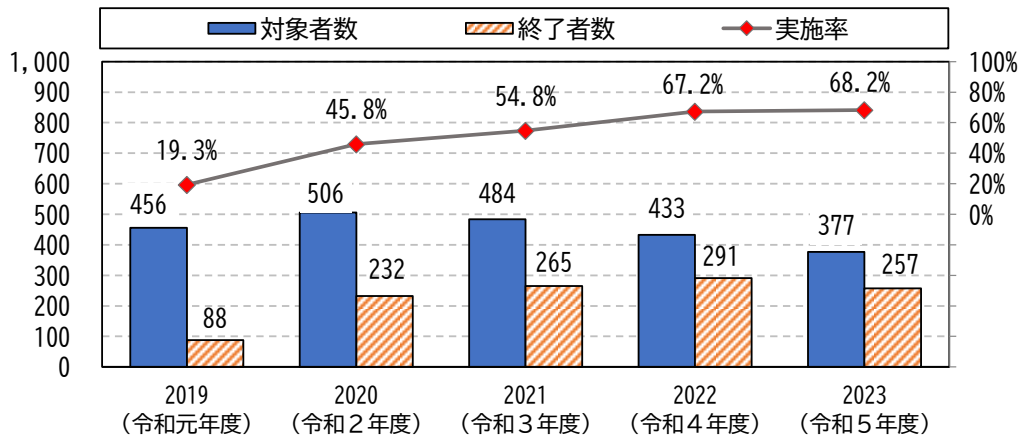
特定保健指導実施率は、増加傾向で推移しており、2023(令和5)年度では68.2%となっています。

■特定健康診査受診率



資料：特定健診等データ管理システム

■特定保健指導実施率



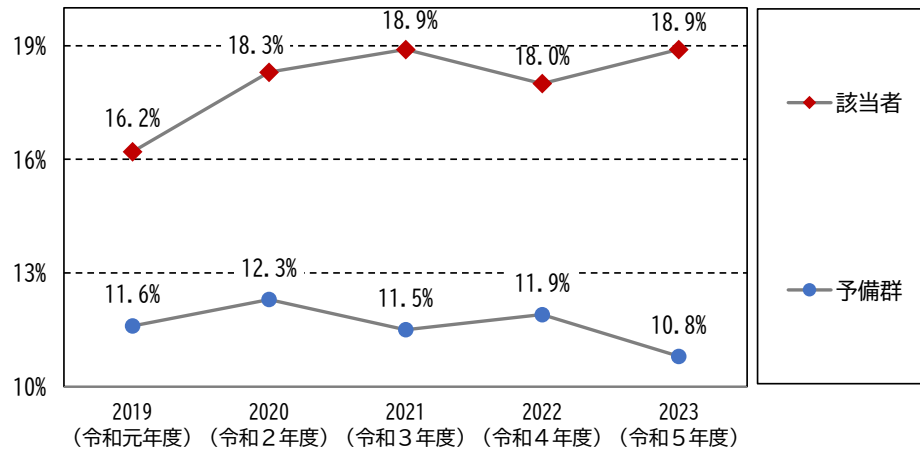
資料：特定健診等データ管理システム

第2章 宮古市の現状

(2) メタボリックシンドローム該当者及び予備群

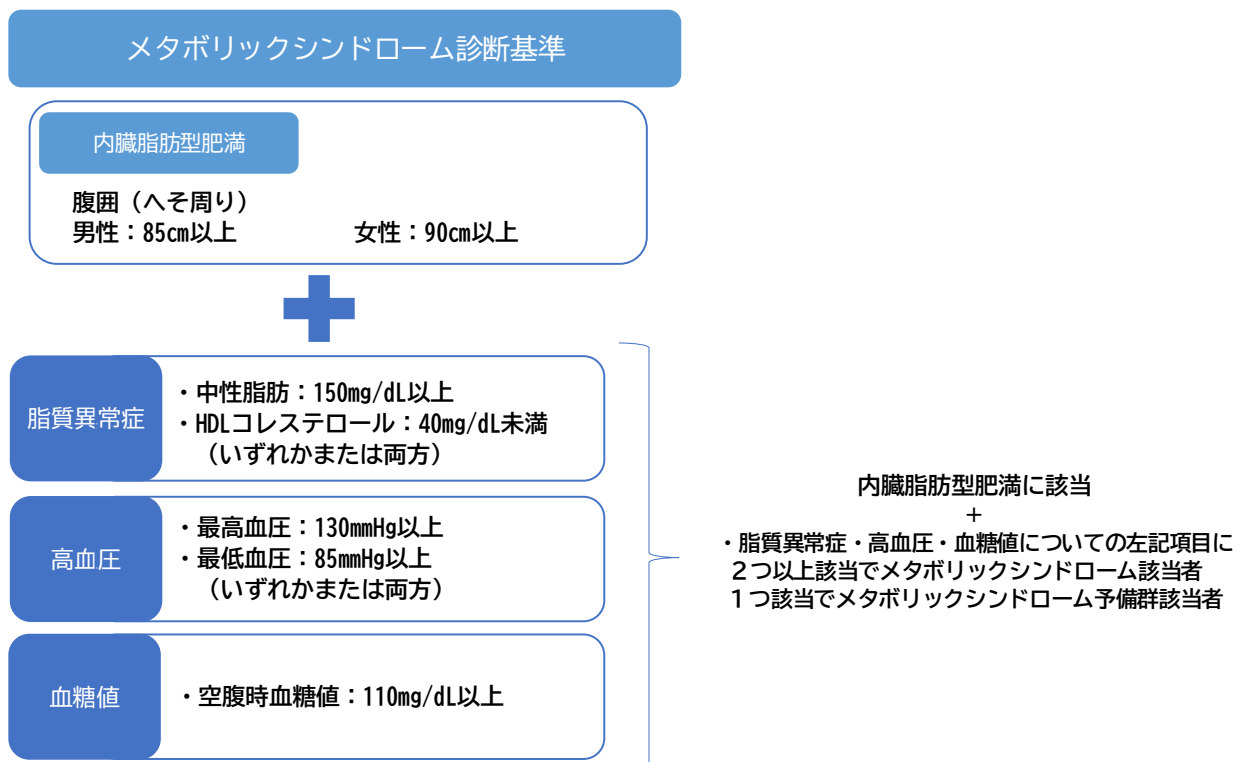
2023(令和5)年度では18.9%がメタボリックシンドローム該当者、10.8%が予備群となっています。

■メタボリックシンドローム該当者及び予備群



資料：特定健診等データ管理システム

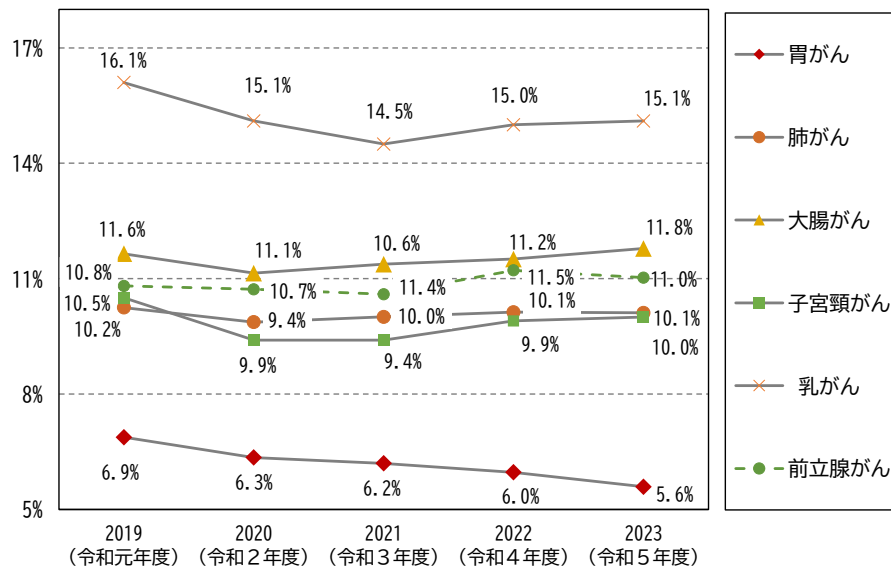
■メタボリックシンドローム該当者及び予備群の判断基準



(3) がん検診について

胃がん検診の受診率は6%前後で推移し、受診率が低い状況となっています。乳がん検診は、15%前後の受診率で推移し、各種がん検診の中で受診率は最も高くなっています。

■各がん検診の受診率



資料：宮古市 保健福祉部 健康課

※対象者数＝宮古市対象年齢人口。毎年4月1日現在人口（地域保健報告より）

■各がん検診の対象者数と受診者数

		2019 (令和元年度)	2020 (令和2年度)	2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)
胃がん検診	対象者数（人）	38,800	38,228	37,611	36,929	36,259
	受診者数（人）	2,668	2,427	2,331	2,202	2,026
	受診率（%）	6.9%	6.3%	6.2%	6.0%	5.6%
肺がん検診	対象者数（人）	36,238	35,676	35,204	34,667	34,106
	受診者数（人）	3,714	3,521	3,522	3,511	3,448
	受診率（%）	10.2%	9.9%	10.0%	10.1%	10.1%
大腸がん検診	対象者数（人）	38,800	38,228	37,611	36,929	36,259
	受診者数（人）	4,519	4,260	4,279	4,250	4,273
	受診率（%）	11.6%	11.1%	11.4%	11.5%	11.8%
子宮頸がん検診	対象者数（人）	23,568	23,087	22,602	22,140	21,640
	受診者数（人）	1,233	1,022	1,180	1,111	1,147
	受診率（%）	10.5%	9.4%	9.4%	9.9%	10.0%
乳がん検診	対象者数（人）	19,475	19,145	18,898	18,593	18,270
	受診者数（人）	1,533	1,357	1,406	1,405	1,371
	受診率（%）	16.1%	15.1%	14.5%	15.0%	15.1%
前立腺がん	対象者数（人）	13,459	13,363	13,300	13,159	13,024
	受診者数（人）	1,455	1,433	1,409	1,476	1,436
	受診率（%）	10.8%	10.7%	10.6%	11.2%	11.0%

※子宮がん、乳がん検診については、隔年受診のため、受診率の算定に当たっては、前年受診者も含めて算出しています。

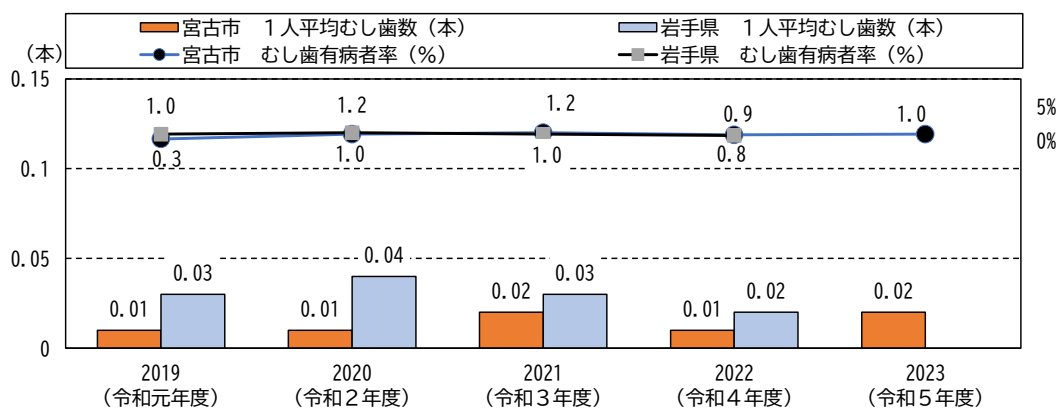
8 こどもの健康状況

(1) むし歯の状況

歯科健康診査の結果からむし歯有病者率を見ると、年齢が上がるにつれて有病率も高くなる傾向となっており、12歳児は3割以上がむし歯がある状況となっています。

■ 1歳6か月児歯科健康診査結果

		2019 (令和元年度)	2020 (令和2年度)	2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)
市	宮古市 むし歯有病者率 (%)	0.3	1.0	1.2	0.9	1.0
	宮古市 1人平均むし歯数 (本)	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02
県	岩手県 むし歯有病者率 (%)	1.0	1.2	1.0	0.8	現時点でデータなし
	岩手県 1人平均むし歯数 (本)	0.03	0.04	0.03	0.02	現時点でデータなし

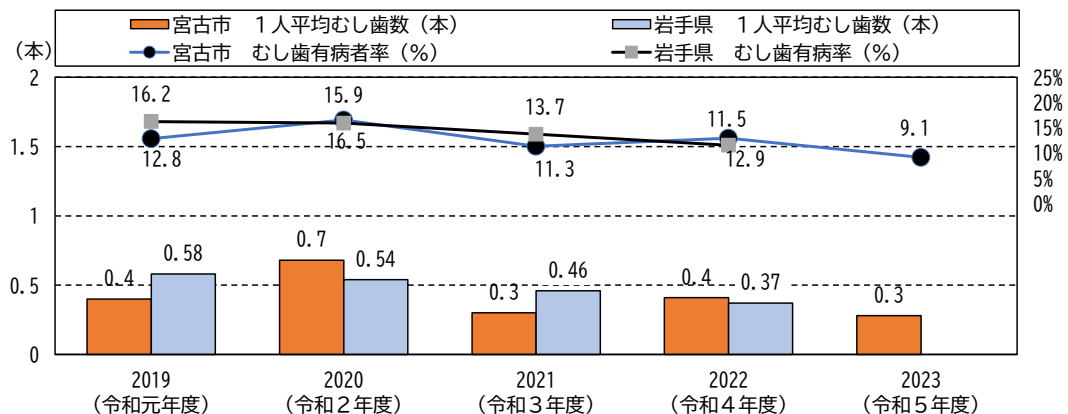


資料：宮古市：宮古市1歳6か月児歯科健康診査結果

岩手県：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

■ 3歳児歯科健康診査結果

		2019 (令和元年度)	2020 (令和2年度)	2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)
市	宮古市 むし歯有病者率 (%)	12.8	16.5	11.3	12.9	9.1
	宮古市 1人平均むし歯数 (本)	0.4	0.7	0.3	0.4	0.3
県	岩手県 むし歯有病者率 (%)	16.2	15.9	13.7	11.5	現時点でデータなし
	岩手県 1人平均むし歯数 (本)	0.58	0.54	0.46	0.37	現時点でデータなし

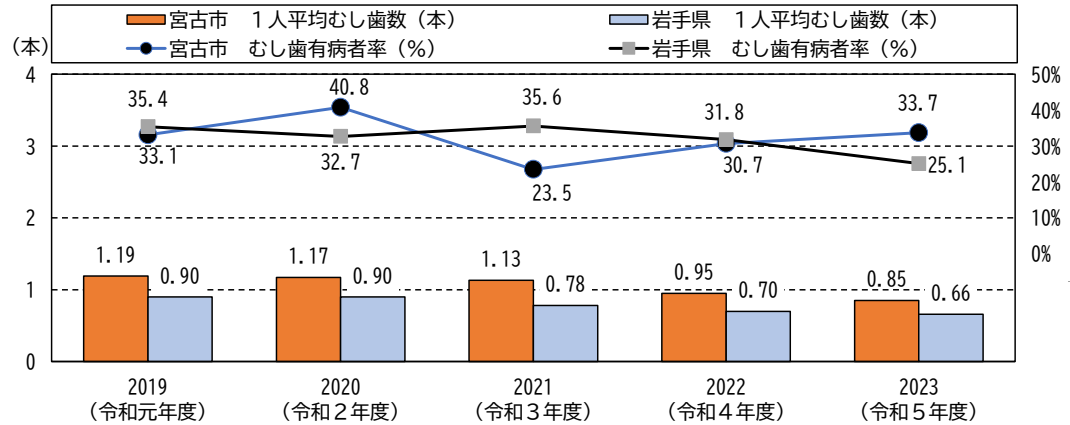


資料：宮古市：宮古市3歳児歯科健康診査結果

岩手県：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

■12歳児歯科健康診査結果

			2019 (令和元年度)	2020 (令和2年度)	2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)
市	宮古市	むし歯有病者率 (%)	33.1	40.8	23.5	30.7	33.7
	宮古市	1人平均むし歯数 (本)	1.19	1.17	1.13	0.95	0.85
県	岩手県	むし歯有病者率 (%)	35.4	32.7	35.6	31.8	25.1
	岩手県	1人平均むし歯数 (本)	0.90	0.90	0.78	0.70	0.66



資料：宮古市：中学校定期健診歯科健康診査結果

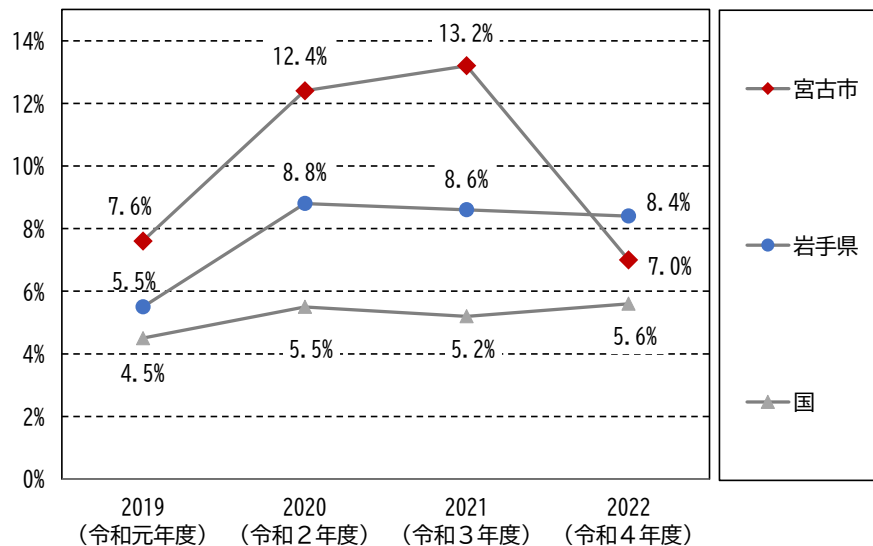
岩手県：岩手県歯科医師会定期健診歯科検診結果

第2章 宮古市の現状

(2) 肥満の状況

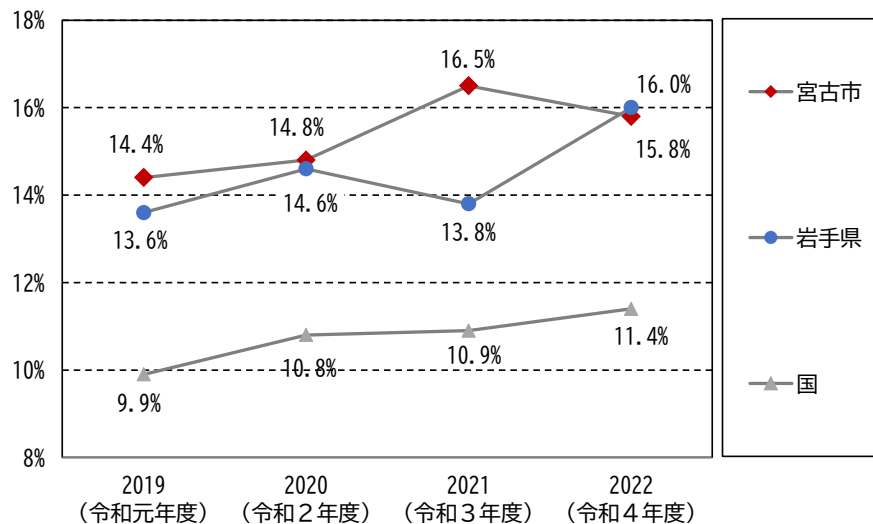
宮古市小・中学校健康診断統計による肥満度分布によると、肥満傾向（肥満度20%以上）は小学1年生と中学1年生ともに2022(令和4)年度は県平均を下回っていますが、それ以外の年度では国・県の平均を上回っています。

■肥満傾向児の割合（小学1年生）



資料：宮古市：「宮古市小・中学校健康診断統計（宮古市学校保健会）
岩手県・国：文部科学省・学校保健統計調査（確定）

■肥満傾向児の割合（中学1年生）



資料：宮古市：「宮古市小・中学校健康診断統計（宮古市学校保健会）
岩手県・国：文部科学省・学校保健統計調査（確定）